

(会議の経過) 第3回こども指針(仮称)策定・検討部会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※前回の会議録(要旨)について、修正等の意見がなかった旨を確認し、この内容で公表していくことで確認をいただく。</p>
委員	<p>協議事項について、事務局より説明を。</p>
事務局	<p>前回の会議で、全体会をするのか部会を続けるのか各部長と協議させてもらうという話であったが、各部会とも議論が十分でないため部会を続けることになった。この部会では、委員から意見をいただき、それらを踏まえて今回素案をまとめているので、説明後、色々のご意見をいただきたい。</p> <p>※資料により、(素案)(仮)しそうこども指針について概略説明。</p>
委員	<p>この素案を中心に委員さんの意見をいただきたい。「えがお・げんき・のびのび」はキャッチフレーズとしてはいいが、その下の文章と上手く整合しないのではないかと思う。現行の幼稚園児は4歳5歳だが、私の希望としては3歳からにしてほしい。</p>
事務局	<p>国では3歳から5歳となっていることは承知しているが、宍粟市としては、今までの歴史や積み重ねから、まずは4歳5歳の子どもに等しく幼児教育を提供していきたいと考えている。</p>
委員	<p>大きな方針のことなので、この委員会で決定できることではないかも知れないが、せっかく制度変更するのであれば3歳からが好ましいのではないかと思う。</p>
委員	<p>3歳というのは1つの分かれ目と思う。孫が1歳半だが、母親が関わり家庭で育ており、このまま集団に入らずに3歳を迎えたら、4歳で集団に入った時に大丈夫なのかと思うことがある。一昔前は地域の集団があったり、兄弟がいたり、同年齢くらいの子と遊んだりする機会があったのだろう。孫を見ていて、3歳までどう集団と関わるのか、よほど、母親が考えてつれていけない限り集団と関わる機会がないように思う。2歳から3歳はいろんな意味で延びる時期で、親が選択するかしないかは別として、3歳児にそういった場が与えられるのは大切なことではないかと思う。</p>
委員	<p>3歳とは幼稚園でいう3歳児のことであり、4月入所時点で3歳になっている子どものことで、中には4歳に近い子もいる。現状、保育に欠ける子(保育所に入所できる子)でないという集団と関わる機会が提供されていないわけで、それでいいのだろうかと思う。</p>
委員	<p>波賀では幼稚園で3歳児保育が週に3日ある。保護者の話では、毎日、大人だけを相手にするには物足りない年齢で、同じ年の子どもと遊ばせたいが、4、5歳児のように毎日だと疲れたりするので、今の3日位が丁度いいと言われていた。こども指針を考えるにあたり、0歳から5歳までの子どもたちが全部一緒になっていて、どこかで線引きをするとした場合、幼児教育の部分をどこからにするかということは重要なことだと思う。3歳まで親もとで育てられるのも大切だが、子ども同士の集団の中に入れる機会も大切だと思う。</p>
委員	<p>事務局としては認定こども園が前提なので、4、5歳を幼児教育と言われるのかもしれないが、今までの歴史の中では、昭和40年頃から4歳児教育が始まり、それまでは5歳児教育だった。国が3歳から幼児教育といっているということは、社会的に改定しないといけない時期に来ているのではと思う。昔の3歳児と今の3歳児は全然違う。今の3歳児は促さないと動かない。いきなり4歳5</p>

委員	<p>歳で教育となった時にどうなるのか。3歳児に教育は必要だと思う。時代の流れ、家庭の変化に応じて、宍粟市として先行して考えていただきたい。</p> <p>3歳児保育は重要だと思う。私立の保育園と兼ね合いもあり、宍粟市としては4、5歳児ということだったのだろうと思う。群れて遊べるような環境も少なくなる中で、保育に欠けない子どもは必ずいる。3歳児は子どもとも少し遊びたいがお母さんとも一緒にいたい年齢なので、そういう時期をいかに過ごすかということが4歳で受け入れた時にすごく差がある。3歳児らしく育つ環境は重要と思う。4、5歳児と同じ教育は必要ないが、4、5歳を豊かに育つためには3歳時期は大切である。市として3歳からの保育を目指してほしい。</p>
委員	<p>3歳児は、4歳児になって幼稚園へ送りだすイメージを持っている。一宮は4歳児になると幼稚園に行く子どもが多い。我慢できる力や集団の流れに入っていく力といった、基礎になる力は3歳の間に培わないといけない。家庭や子育て支援センターにも、そういった認識を持ってもらって、環境を作ってもらうことが大切と感じる。</p>
事務局	<p>思いはよく分かったが、この委員会だけで決められることではないと思うので、3歳児の幼児教育については検討事項とさせていただきたい。指針案では、0歳児から5歳児という数字による表現をしているが、例えば4歳児5歳児という数字で表さない表現も考えられる。</p>
委員	<p>3歳というのを表記してしまうと話が大きくなってしまふのかもしれないが、方向性として、3歳児の幼児教育という表記は入れて欲しいと思う。</p>
委員	<p>指針案の3ページ目のところだが、図中央のこども園（幼稚園と保育所）の年齢をもう少し考えていただきたい。特に保育所だと「未満児」「3歳児」「以上児」という言葉を使い、3歳児は特に重要視される。実習生に対しても3歳児の重要性を伝える。文章がつけにくいかもしれないが、1行目の教育のところに3歳児を含んでいただきたい。</p>
委員	<p>市の施策としても、こども指針に3歳児について明記するほうが、力を入れているのだな、子どもを大切に育てていくのだなということが伝わるのでは。3歳児に対しての親の意識も同時に高めることにもつながる。保育から教育への橋渡しという意識を持って取り組めるのではないかと思う。</p>
委員	<p>全国的には、私立の幼稚園なら3歳児からの教育を始めているところが多い。神戸市では公立の一部の幼稚園で3歳児の教育を始めている。</p>
事務局	<p>幼稚園で3歳児の短時間の教育を月曜から金曜まで実施ですか。</p>
委員	<p>短時間保育、長時間保育という言い方をすれば、3歳児から短時間保育を公立で始めているところもある。そういう方向には進んでいるが、幼稚園が全部そうになると、地域の他の施設との兼ね合いで、問題も出てくることもある。ただ、4、5歳教育が当たり前ではない。兵庫県の公立の幼稚園は最初1年教育で始まり、文科省からの通知で4歳児教育が始まった経緯だったと思う。</p>
委員	<p>兵庫県の中でも、認定こども園になるときに3歳児教育としているところがあるようだ。</p>
委員	<p>3歳の幼児教育について、幼稚園教育要領に時間の規定などはあるのか。</p>
委員	<p>年齢による時間の規定はない。幼稚園教育要領は年齢に区切った表現はしていない。例えば4歳5歳児はお弁当があるけれど、3歳児はないとかいろんなパターンで3歳児を受け入れている。ただ、そういう機会を提供できるということが大切なこと。</p>

事務局 委員	<p>小学校に入学する子について、昔と今とどんな違いがあるか。</p> <p>小1プロブレムと言われるように、例えば人の話がなかなか聞けなかったり、友達同士でコミュニケーションがとれなかったり、また、お箸の使い方やトイレの使い方といった生活の基本的なことが低年齢化していることがある。また、自分が困っていることをきちんと話せず、黙ってしまう子が多くなっている。</p>
事務局	<p>幼稚園、保育所から小学校へ送り出す5歳児の姿が、今と昔で違っていると考えられるか。</p>
委員 委員	<p>違っていると思う。幼稚園に4歳児で入園してくる時点も違うと思う。</p> <p>1ページの「めざすこども像」の「えがお・げんき・のびのび」というのはいい言葉とは思いますが、もう少し具体的な方がいいのでは。保育所での目標はもっと細かくしている。市の目標として「えがお・げんき・のびのび」とするのであれば、その下の項目は具体的にこうしたいと表現する方がいいと思う。</p>
委員	<p>前回の会議で、細かくたくさん書くよりも、ぱっと見て分かり易いものにして、幼稚園、保育所だけでなく、家庭で子育てしている方にも分かり易くした方がいいと発言した。「えがお・げんき・のびのび」といったイメージからのほうが分かり易いかなと思う。</p>
事務局	<p>キャッチフレーズの下にくる項目の内容が重要で、キャッチフレーズは後から考えていってもいいかと思う。</p>
委員	<p>そこの項目の部分は、まだ増やしてもいいのか。目指すこども像も入ってくるのなら、ルールを守る、自分の気持ちをコントロールするなど大切なことで、これを足してもらいたい。</p>
委員	<p>この3つを基本に、各園所で実態に応じて具体的にしていけばいいのではないかなと思う。</p>
事務局	<p>事務局としては、目指すこども像の姿のところはもっと議論して決めていってもらいたい。</p>
委員 委員	<p>キャッチフレーズの下にくる3つの柱について意見はないか。</p> <p>我慢する、ルールを守るということを入れてもらいたい。いろんな面で待つということができない子どもが増えており、今の子どもに欠けているところではないかなと思う。また、家庭と地域社会というところでも当てはまってくるのではないかなと思う。</p>
委員	<p>我慢する力より自分をコントロールするという表現の方が良いかなと思う。これは子どもの集団の中で育っていく部分も大きいので、そういう経験を積んでいき、力をつけるということもあると思う。</p>
委員	<p>宍粟市の目標として、目指すこども像の中に誰が見ても分かるよう文言に付け加えて欲しい。</p>
委員	<p>「豊かな感性と創造性にあふれるこども」の部分かもしれないが、最近いじめがよく問題になっている。自分がその立場だったらどうかといった、相手を思いやるような表現を入れて欲しい。いじめの対象者が自分だったらどうかを考えることができれば、酷いいじめにはならなかったかもしれない。思いやりを持つようなことをもっと入れていって欲しいと思う。</p>
委員	<p>前回の案にはもう少し思いやりのような言葉が入っていたように思う。これから子育てする人は興味も関心もあるかもしれないが、子育てが終わっている人はあまり関心がない印象がある。地域の人でも自分がどう関わっていくべきなの</p>

	<p>か、保護者もこんな風にならないといけないといったことが感じられて、子育てに関わってもらえるパンフレットの的なものになれば良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>思いやりなど、今出た意見は一応入ってはいるが、この3つの柱の見出しにした時にぱっと見えてこないのだと思う。人と関わるような基盤になる力を育てるのは大切な部分で、指針に入ってはいるが、この3つの見出しには見えてこない。かといって言葉を増やしすぎると結局幼稚園の五領域になってしまう。</p>
委員	<p>五領域はよくできており、完成されたものだと思う。これ以上のものを作るのは無理なことであるので、これに地域の特色を足していくやり方が良いのではないか。</p>
委員	<p>五領域を3つの中に上手に入れるのは言葉として難しい。五領域を3つに表現していったとき、本来の五領域が入ってはいるけれど十分に表現しきれないのだと思う。</p>
委員	<p>指針案におかしな言葉はなく、いい言葉ばかりだとは思いますが、何か物足りなさを感じる。</p>
委員	<p>「規範意識」みたいなものも入っていないかなと思う。</p>
委員 委員	<p>幼稚園も保育園もいろんな情報を出していくことを求められている時代だと思う。指針も見える形にしていき、本日出た意見以外にもあれば、また事務局に直接伝えていただきたい。この指針案は、一般の方にもシンプルに見やすく構成されていると思う。ボリュームはA3の表裏に収まるくらいでいいと思う。ただ、そうするとポイントをしっかりとつかんだ言葉を出さないといけないことになっていく。</p>
事務局	<p>基本方針の2つについてもこれで良いか、意見をいただきたい。 また、五領域が全て入っていなければならないという意見について、基本は、幼稚園教育要領なり保育所保育指針が基本となって、認定子ども園、幼稚園、保育園があると考えている。できるだけ3つの柱で五領域を表現するように検討していくが、すべて網羅となれば五領域そのものになってしまうので、宍粟市として重点を置きたいところを表していくという考え方でよいか。</p>
委員	<p>そのまま表現すれば、五領域そのものということになってしまうと思う。まとめるべきは、まとめてもらわないと3つにはならないだろう。</p>
事務局	<p>市民の方に分かり易く就学前の子ども姿を示せるように考えていく。</p>
委員 委員	<p>現場の職員の指針にもなるものなので、五領域をそのまま全て入れるということではなくて、宍粟の子ども達の姿や地域、家庭の環境を見たりして、欠けていると思う部分、大事な部分は盛り込んでいったらいいのではないか。そうすることで、目指す子ども像になり、みんなが納得できるのではないかと思います。</p>
委員	<p>では、次回開催については？</p>
事務局	<p>残りの2つの部会が終わった時点で、各部長と相談のうえ、引き続き部会を開催するのか全体会をするのかを含め、調整する。</p>